

「ナミノバ」 利用ガイドライン

1. 河川利用上の原則

河川の利用は、原則自由使用です。河川管理者の許可なしに自由に河川を利用できます。自由使用として考えられる主な利用は次のとおりです。

例：魚釣り(入漁料が必要)、水泳、ボート遊び、散歩、サイクリング等
他の自由使用者に迷惑をかけないようお互いに思いやりをもって利用しましょう。

迷惑行為等の例

- ・ 河川敷でのゴルフ練習(飛球に対する危険など)
- ・ 自転車やバイクの高速走行(衝突に対する危険など)
- ・ 人家近くのラジコン飛行機やモーターパラグライダー(騒音、墜落の危険など)
- ・ 直火によるバーベキュー、たき火(火災の危険など)
- ・ 大声で叫ぶ、大音量を出す(近所迷惑など)
- ・ ゴミや吸い殻など不法投棄(環境整備など)
- ・ 犬の放し飼い など

2. 「ナミノバ」利用申請

「ナミノバ」は関西電力発電所の直下流のため、予期せぬ放流があります。川に入るには、必ずWEBより利用申請を事前に行ってください(QRコード)。入力情報は水難事故発生後の対応と、ナミノバ利用状況調査に利用し、個人情報保護法に基づき厳格に管理いたします。なお、競技や練習などで連日利用する場合は、7日前までに申請をお願いします。



3. 安全管理

「ナミノバ」は、流量(最大80t/s)・流速(2~5m/s)の急流です。川専用の装備や知識が無いと命を落とす危険性が高い場所です。水難事故は自己責任となります。川に入る際は以下の安全管理を各自必ず行ってください。

環境

- ・ 「ナミノバ」は、関西電力市荒川発電所の放水口の直下流にあり、発電に伴って水位水量の増減が生じることを認識の上、流況を常に確認して利用してください。
- ・ 九頭竜川の増水に伴い渦を巻くなど流れが急変する場所です。
- ・ 吉峰川は増水に伴い土砂が流れ出ることがあります。
- ・ 上記のように増水により流況が変化したら、すぐに活動を中止し避難してください。

装備

- ・ 身体サイズに合った川用のライフジャケット(PFD | Personal Floating Device)。海用の救命胴衣はNG
- ・ 川用のヘルメット(水抜き穴があるものやカヤック専用)
- ・ 運動靴やリバーシューズ(ビーチサンダルなどかかとが固定できない靴はNG)
- ・ 濡れてもよい服装(化学繊維のもの。綿や冷感タイプはNG)

レスキュー

- ・ 一人で絶対に川に行かない
- ・ RACリーダー、RESCUE3(SFR)、RAJリバーガイド等の有資格者または同程度のレスキュー技術を有するものがあること
- ・ 訓練を受けたレスキューアが、見張りやバックアップなど適切なレスキュー体制をとること

4. フリースタイルカヤックコース

フリースタイルカヤックのコースとしてウェーブ(波)を立てています。ウェーブはコンクリートブロックと根固め工用袋材を河床に設置し発生させています。ブロックの周りは流れが複雑で水難事故が発生しやすいため、競技者以外の方は決して近づかないでください。また、釣り針が根がかりしますので、釣りには十分注意してください。

5. 連絡先

お問い合わせ内容に応じて下記にご連絡ください。

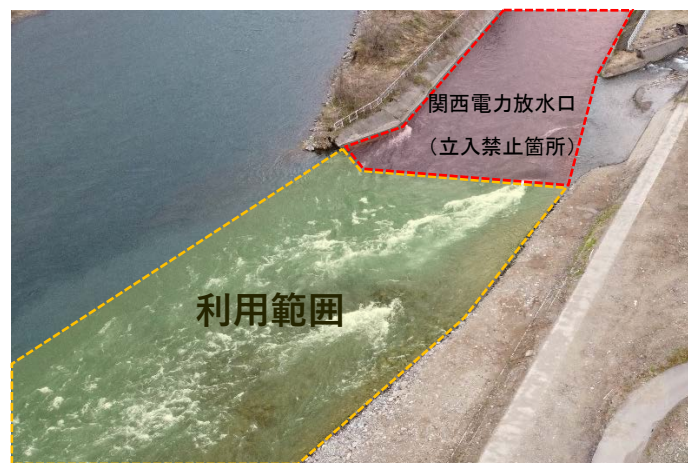
- ・ 九頭竜川かわとまち協議会(利用方法など) <https://paddlingvil.jp/>
- ・ 福井県福井土木事務所管理課(河川管理者)
- ・ 永平寺町生涯学習課(河川公園管理者)

水難事故に遭遇したときは、速やかに119番

場所は、「永平寺町中島地係、九頭竜川市荒川大橋下流の左岸100m、中島河川敷公園内の最上流にある吉峰川と九頭竜川の合流地点」と伝えてください。



ブロックの設置状況



利用範囲(長さ30m×幅30m程度)